主任技術者兼務届出書

　　年　　月　　日

久喜市長　あて

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　受注者　商号又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

　下記のとおり、同一の主任技術者が工事を兼務したいので届け出ます。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 主任技術者氏名 |  |
| 新たに配置する工事 | 専任・非専任の区分 | 専任　　非専任 　　　　　　　　 　※どちらかに○をつける |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 | 　円　　 |
| 工期 | 令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで |
| 現場代理人予定者  | ※現時点の予定者 |
| 発注者、工事担当課所  | ※公告等に記載してあるもの |
| 既に配置している工事 | 専任・非専任の区分  | 専任　　非専任　　　　　　　　　 ※どちらかに○をつける |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 | 　円　　 |
| 工期 | 令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで |
| 現場代理人 |  |
| 発注者、工事担当課所 |  |
| 工事担当者、電話番号 |  |
| 兼務場所　　　　　　　　　　　　　距離　　 ．　 ｋｍ　　縮尺 1 :　　　　　 （縮尺を記入すること） |

注(1)本届出書は、契約締結前（落札候補者の時点）に提出してください。

(2)本届出書は、主任技術者が「専任する工事－専任する工事」及び「専任する工事－非専任の工事」の場合のみ提出してください。「非専任の工事－非専任の工事」は提出不要です。

　なお、「専任する工事－非専任の工事」の場合でも、兼務できる工事の数は２件です。

(3)既に配置している工事の発注者に、兼務することについて承諾を得てください。

(4)本届出書の提出の際に、既に配置している工事の工事内容（官公庁以外の工事は契約書及び工事の内容）を提示してください。

(5)兼務場所欄には地図を貼付するとともに、既に配置している工事と新たに配置する工事の場所を記載し、距離と縮尺を明記してください。（別紙でも可）

(6)既に配置している工事と新たに配置する工事の場所が同一である場合は、地図の貼付は不要です。枠内に「同一場所における兼務」と記載してください。

(7)本届出書を提出し発注者が確認をした後に、既に配置している工事の発注者に対して本届出書の写しを提出してください。

【発注者チェック欄】

① □ 密接な関係にある工事で、次のいずれかに該当する

　　ア　工作物に一体性又は連続性が認められること。

　　イ　相互の工事の資材を一括して調達すること。

　　ウ　工事の相当部分を同一の下請業者が施工すること。

② □ 工事現場の相互の距離が直線距離で１０㎞程度の範囲内

③ □ 既に配置している工事の発注者に兼務することの承諾を得ている

④ □ 主任技術者の資格要件

⑤ □ 工事実績情報システム（CORINS)登録状況